

「Fukuoka Art Next」今月のアート（1月）

福岡市は、彩りにあふれたアートのまちを目指して、暮らしのなかで身近にアートに触れる機会を増やし、アーティストの成長支援に取り組む「Fukuoka Art Next」を推進します。

市民がアートを身近に感じられるよう、福岡で活躍しているアーティストの作品を、月初めの定例会見において紹介します。

■ アーティストについて

田中 千智（たなか ちさと）

1980年生まれ。2005年多摩美術大学美術学部絵画学科油画専攻卒業。アクリル絵具を使った、吸い込まれるような漆黒の背景に、艶やかな油絵具で人物や大地を描く画家です。その作品は、観る者に強い印象を与え、その想像力をかきたてます。いまや福岡を代表する作家のひとりです。

「第1回ホワイトウォールプロジェクト 田中千智展 地平線と道」

（会期：3月21日まで、会場：福岡市美術館近現代美術室B）

田中千智の壁画制作と個展からなる企画展が、福岡市美術館で開催中。制作中の3.14×13mの壁画は、1月中に第1段階が完成予定。その後、2024年1月、2025年1月と1年ごとに加筆をおこない、毎年大きく画面が変化します。最終的には2025年12月末まで展示します。

■ 作品について



作家名 : 田中千智
作品名 : 地につけて
制作年 : 2022年
材質技法 : 油彩、アクリル・画布
サイズ : 53.0 × 65.2 (cm)

黒い服を着た人物が、漆黒の闇を背に白い大地に立っています。人物のきゅっと閉じた口元や見開いた目から強い意思が感じられます。黒と白の強いコントラストが印象的なその作品は、説明的な描写が極力おさえられ、観る者が自由に物語を想像することができます。

【お問い合わせ先】

経済観光文化局美術館学芸課 担当：山木、岩永

TEL：714-6054 FAX：714-6145 e-mail：yamaki@fukuoka-art-museum.jp